

平成 18 年 12 月 25 日

各 位

会社名 株式会社バルーナ
代表者名 代表取締役社長 安野 清
(コード番号: 9997 東証第 1 部)
問合せ先 管理本部長 大谷 賢
(TEL 048-771-7753)

平成 19 年 3 月期 中間決算短信(連結)の一部訂正について

平成 18 年 11 月 9 日付で発表いたしました「中間決算短信(連結)」の一部事項について、訂正がございましたのでお知らせいたします。訂正箇所については下線を付しております。

なお、当該訂正による業績に与える影響はありません。

記

1. 訂正理由

連結決算日と決算日の異なる子会社を新規連結する際に、決算日が異なることによる連結会社間取引の重要な差異について合理的な範囲で調整を行いましたが、連結キャッシュ・フロー計算書作成のために必要な調整が不十分であると判明し、その差異を調整し訂正を行います。

2. 訂正の内容

訂正箇所 1 (表紙) (3) 連結キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
18年 9 月中間期	<u>△ 6,846</u>	△ 6,255	6,960	14,811
17年 9 月中間期	△ 771	△ 1,695	12,111	18,260
18年 3 月期	△ 1,609	△ 1,900	14,802	19,960

(訂正後)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
18年 9 月中間期	<u>△ 6,064</u>	△ 6,255	6,960	14,811
17年 9 月中間期	△ 771	△ 1,695	12,111	18,260
18年 3 月期	△ 1,609	△ 1,900	14,802	19,960

訂正箇所2 (6頁)3. 経営成績及び財政状態 (2)財政状態

(訂正前)

②当中間連結会計期間のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	増減	前連結会計年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	△771	<u>△6,846</u>	<u>△6,075</u>	△1,609
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,695	△6,255	△4,560	△1,900
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,111	6,960	△5,151	14,802
現金及び現金同等物に係る換算差額	79	<u>△18</u>	<u>△97</u>	131
現金及び現金同等物の増減額	9,724	<u>△6,160</u>	<u>△15,884</u>	11,424
現金及び現金同等物の期首残高	8,536	19,960	11,424	8,536
新規連結子会社の現金及び現金同等物の 期首残高	—	<u>1,010</u>	<u>1,010</u>	—
現金及び現金同等物の期末残高	18,260	14,811	△3,449	19,960

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動により使用した資金は 6,846 百万円 ですが、これは営業貸付金が増加した事が主な要因です。

(訂正後)

②当中間連結会計期間のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	増減	前連結会計年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	△771	<u>△6,064</u>	<u>△5,293</u>	△1,609
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,695	△6,255	△4,560	△1,900
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,111	6,960	△5,151	14,802
現金及び現金同等物に係る換算差額	79	<u>△1</u>	<u>△80</u>	131
現金及び現金同等物の増減額	9,724	<u>△5,362</u>	<u>△15,086</u>	11,424
現金及び現金同等物の期首残高	8,536	19,960	11,424	8,536
新規連結子会社の現金及び現金同等物の 期首残高	—	<u>212</u>	<u>212</u>	—
現金及び現金同等物の期末残高	18,260	14,811	△3,449	19,960

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動により使用した資金は 6,064 百万円 ですが、これは営業貸付金が増加した事が主な要因です。

訂正箇所3 (14・16 頁)4.中間連結財務諸表等 (4)中間連結キャッシュ・フロー計算書
(訂正前)

		前中間連結会計期間 (自 平成17年4月1日 至 平成17年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	前連結会計年度の要約連 結キャッシュ・フロー計 算書 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
区分	注記 番号	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動による キャッシュ・フロー				
税金等調整前中間(当 期)純利益		4,824	5,428	11,726
減価償却費		478	448	956
減損損失		42	—	42
貸倒引当金の増加額		138	278	272
返品調整引当金の 減少額		△17	△7	△8
利息返還損失引当金の 増加額		—	101	95
その他引当金増加額		103	14	82
受取利息及び受取 配当金		△208	△121	△474
支払利息		116	102	238
有価証券売却益		△70	△44	△301
投資有価証券売却益		—	△100	△48
新株予約権戻入益		—	△5	—
投資有価証券評価損		5	2	239
有形固定資産除却損		—	9	14
売上債権の減少額		1,457	1,225	409
営業貸付金の増加額		△2,291	△7,810	△9,041
たな卸資産の増加額		△1,310	△518	△841
その他流動資産の 減少額(△増加額)		646	△594	100
仕入債務の減少額		△927	△745	△651
その他流動負債の 減少額		△1,834	△1,278	△274
その他固定負債の 減少額		△276	△235	△346
その他		9	13	95
小計		886	△3,836	2,287
利息及び配当金の 受取額		214	120	481
利息の支払額		△113	△99	△265
法人税等の支払額		△1,758	△3,031	△4,113
営業活動によるキャッ シュ・フロー		△771	△6,846	△1,609

		前中間連結会計期間 (自 平成17年4月1日 至 平成17年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	前連結会計年度の要約連 結キャッシュ・フロー計 算書 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
区分	注記 番号	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
III 財務活動によるキャッ シュ・フロー				
短期借入金の純増加額		2,250	5,334	7,213
長期借入れによる収入		1,500	500	4,600
長期借入金の返済によ る支出		△332	△446	△664
社債の発行による収入		10,000	—	10,000
社債償還による支出		—	—	△5,000
新株の発行による収入		57	4,121	406
自己株式の売却による 収入		0	0	0
自己株式の取得による 支出		△786	△1,777	△1,175
配当金の支払額		△577	△772	△577
財務活動によるキャッ シュ・フロー		12,111	6,960	14,802
IV 現金及び現金同等物に係 る換算差額		79	<u>△18</u>	131
V 現金及び現金同等物の増 減額		9,724	<u>△6,160</u>	11,424
VI 現金及び現金同等物の期 首残高		8,536	19,960	8,536
VII 新規連結子会社の現金及 び現金同等物の期首残高		—	<u>1,010</u>	—
VIII 現金及び現金同等物の中 間期末(期末)残高	※	18,260	14,811	19,960

(訂正後)

		前中間連結会計期間 (自 平成17年4月1日 至 平成17年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	前連結会計年度の要約連 結キャッシュ・フロー計 算書 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
区分	注記 番号	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動による キャッシュ・フロー				
税金等調整前中間 (当 期) 純利益		4,824	5,428	11,726
減価償却費		478	448	956
減損損失		42	—	42
貸倒引当金の増加額		138	278	272
返品調整引当金の 減少額		△17	△7	△8
利息返還損失引当金の 増加額		—	101	95
その他引当金増加額		103	14	82
受取利息及び受取 配当金		△208	△121	△474
支払利息		116	102	238
有価証券売却益		△70	△44	△301
投資有価証券売却益		—	△100	△48
新株予約権戻入益		—	△5	—
投資有価証券評価損		5	2	239
有形固定資産除却損		—	9	14
売上債権の減少額		1,457	1,225	409
営業貸付金の増加額		△2,291	△7,029	△9,041
たな卸資産の増加額		△1,310	△518	△841
その他流動資産の 減少額 (△増加額)		646	△594	100
仕入債務の減少額		△927	△745	△651
その他流動負債の 減少額		△1,834	△1,278	△274
その他固定負債の 減少額		△276	△235	△346
その他		9	13	95
小計		886	△3,054	2,287
利息及び配当金の 受取額		214	120	481
利息の支払額		△113	△99	△265
法人税等の支払額		△1,758	△3,031	△4,113
営業活動によるキャッ シュ・フロー		△771	△6,064	△1,609

		前中間連結会計期間 (自 平成17年4月1日 至 平成17年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	前連結会計年度の要約連 結キャッシュ・フロー計 算書 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
区分	注記 番号	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
III 財務活動によるキャッ シュ・フロー				
短期借入金の純増加額		2,250	5,334	7,213
長期借入れによる収入		1,500	500	4,600
長期借入金の返済によ る支出		△332	△446	△664
社債の発行による収入		10,000	—	10,000
社債償還による支出		—	—	△5,000
新株の発行による収入		57	4,121	406
自己株式の売却による 収入		0	0	0
自己株式の取得による 支出		△786	△1,777	△1,175
配当金の支払額		△577	△772	△577
財務活動によるキャッ シュ・フロー		12,111	6,960	14,802
IV 現金及び現金同等物に係 る換算差額		79	<u>△1</u>	131
V 現金及び現金同等物の増 減額		9,724	<u>△5,362</u>	11,424
VI 現金及び現金同等物の期 首残高		8,536	19,960	8,536
VII 新規連結子会社の現金及 び現金同等物の期首残高		—	<u>212</u>	—
VIII 現金及び現金同等物の中 間期末 (期末) 残高	※	18,260	14,811	19,960

訂正箇所4 (29 頁) (有価証券関係)当中間連結会計期間末
(訂正前)

3. 時価のない有価証券の主な内容

	中間連結貸借対照表計上額 (百万円)
(1) 満期保有目的の債券	
その他	500
(2) その他有価証券	
非上場債券	<u>938</u>
非上場株式	<u>40</u>
その他	1,687

(訂正後)

3. 時価のない有価証券の主な内容

	中間連結貸借対照表計上額 (百万円)
(1) 満期保有目的の債券	
その他	500
(2) その他有価証券	
非上場債券	<u>40</u>
非上場株式	<u>938</u>
その他	1,687